

景況などに関する会員アンケート

調査結果

平成 30 年 11 月

北陸経済連合会

目 次

1. アンケート調査実施概要	1
2. アンケート調査結果概要	2
総括	2
I. 景気動向	3
II. 業績	5
III. その他（人材不足について）.	7
参考（アンケート調査結果）	10
I. 景気動向	10
II. 業績	13
III. その他（人材不足について）.	15

1. アンケート調査実施概要

○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を迅速かつ的確に把握し、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で40回目]

以下、その結果を報告する。

○調査時期

平成30年9月28日～10月11日

○調査対象

北陸経済連合会会員企業

○回収率

回答率54.0%（送付企業302社、回収数163社）

○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	60	36.8%
石川県	51	31.3%
福井県	21	12.9%
北陸三県以外	31	19.0%
計	163	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	55	33.7%
1億円～10億円未満	46	28.2%
10億円以上	62	38.0%
計	163	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

【規模別】

大企業：資本金10億円以上

中堅企業：資本金1億円以上10億円未満

中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製造業	食料品製造業	4	2.5%
	繊維工業	4	2.5%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.6%
	出版・印刷・同関連業	5	3.1%
	化学工業	3	1.8%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	6	3.7%
	金属製品製造業	9	5.5%
	機械工業	7	4.3%
	その他製造業	16	9.8%
	小計	55	33.7%
非製造業	卸売業	14	8.6%
	小売業	3	1.8%
	建設業	26	16.0%
	電気・ガス・水道業	3	1.8%
	運輸業	7	4.3%
	農・林・漁業	0	0.0%
	鉱業	0	0.0%
	金融業・保険業	19	11.7%
	不動産	1	0.6%
	サービス業	20	12.3%
	その他の非製造業	15	9.2%
小計	108	66.3%	
計	163	100.0%	

2. アンケート調査結果概要

[総 括]

北陸の景気動向 前回調査に引き続き、景気動向は高水準にて推移 来期についても、改善を見込んでいる

- ・ 30年度上期の景気動向については、前期（29年度下期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が46.7%と高水準である。
- ・ 30年度上期の景気について、景気判断BSI（「良くなった」と答えた割合から「悪くなった」を引いた値）でみると、41.8（前回44.5）と高水準で推移している。また、来期（30年度下期）見通しの景気判断BSIは14.1（今期41.8）と、改善を見込む企業の方が多い。

業績 前回調査に引き続き、業績水準は高水準にて推移 来期についても、改善を見込む企業が増加している

- ・ 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が41.7%（前回45.1%）と高水準である。
- ・ 30年度上期の業績について、業績判断BSI（「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値）でみると、11.1（前回調査21.0）となっている。
- ・ 来期（30年度下期）見通しの業績判断BSIは、24.6（今期11.1）と改善を見込む企業が増加している。
- ・ 経営上の課題としては、「人材養成・確保」（79.1%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（50.3%）となっている。

その他

1. 人材不足について

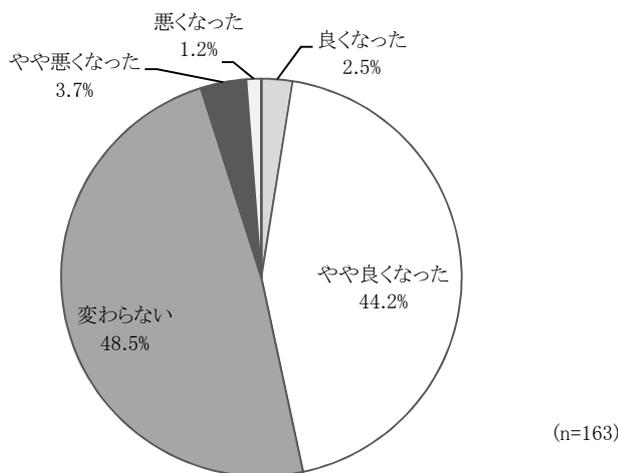
- ・ 全産業では31.3%が人材が過剰または確保できているが、67.5%が人材不足となっている。業種別でみると製造業では60.0%、非製造業では71.2%が人材不足となっている。規模別では大企業よりも中堅企業、中小企業の方が人手不足がより深刻である。
- ・ 人材不足の要因としては、「新卒採用者の減少」（46.4%）が最も多く、次いで「専門技術、知識を持った人材の不足」（41.8%）となっている。
- ・ 人材確保のため、行政や経済団体に望むこととしては「北陸出身者の地元企業への就職支援」（71.2%）が最も多く、次いで「業務効率化への支援」（40.5%）となっている。

I. 景気動向

前回調査に引き続き、景気動向は高水準で推移 来期についても、改善を見込んでいる

- 30年度上期の景気動向については、前期（29年度下期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が46.7%、「やや悪くなった」「悪くなった」の4.9%となっている。また、景気は変わらないとみている企業が5割程度を占めている。（図表1）
- 30年度上期の景気について、景気判断BSI（図表2、※）では41.8となり、前回調査の現状（29年度下期）判断の44.5から減少しているが、高水準で推移している。業種別にみると、製造業が34.5（前回50.0）、非製造業が45.3（前回41.7）となっている。
- 来期（30年度下期）見通しの景気判断BSIは、14.1と今期（41.8）からは減少するが、景気の改善を見込む企業が上回っている。（図表2）
- 30年度上期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が76.7%で、前回調査（77.8%）より下回っている。（図表3）
- 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由を尋ねたところ、「企業収益の回復」が53.6%と最も多く、「設備投資の回復」が48.8%、「個人消費の回復」が31.2%で続いている。（図表4）
- 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業に対し、今後回復に転じると予想される時期について尋ねたところ、30年度下期が0.0%、31年度上期が14.8%、下期が7.4%、32年度上期以降とみる企業が48.1%となっている。（図表5）

図表1. 平成30年度上期の景気（前期比）



図表2. 平成30年上期の景気判断と見通し

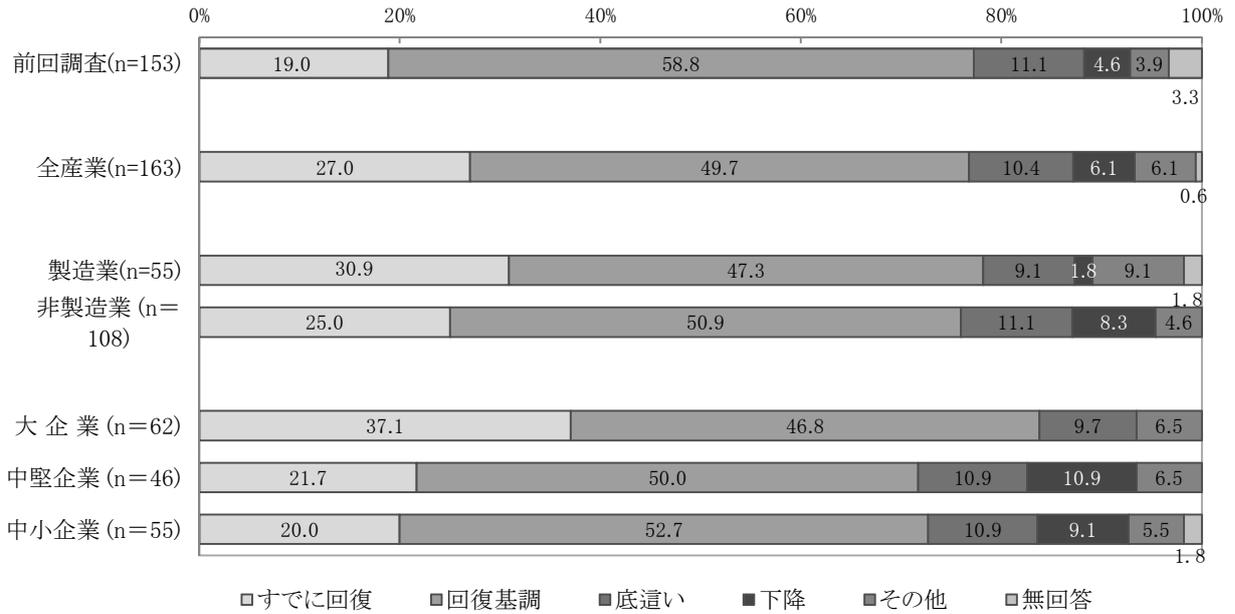
※景気判断BSI

（「良くなった」「やや良くなった」） - （「悪くなった」「やや悪くなった」）社数構成比 単位：%ポイント

		前回調査		今回調査		
		29年10～3月（前期）		30年4～9月（今期）		30年10～3月（見通し）
		景気判断BSI	景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅
全産業		44.5	41.8	▲ 2.7	14.1	▲ 27.7
業種	製造業	50.0	34.5	▲ 15.5	12.7	▲ 21.8
	非製造業	41.7	45.3	3.6	14.8	▲ 30.5
規模	大企業	50.0	53.2	3.2	27.3	▲ 25.9
	中堅企業	37.8	41.4	3.6	4.4	▲ 37.0
	中小企業	42.9	29.1	▲ 13.8	7.3	▲ 21.8

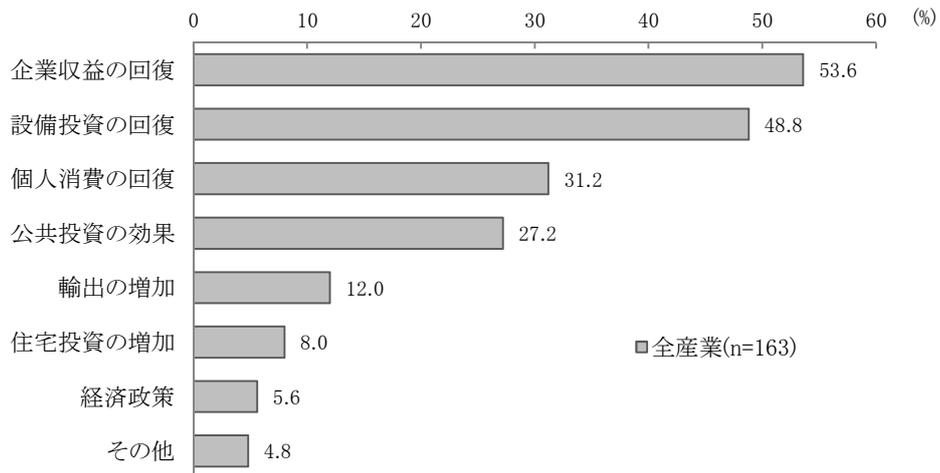
注) 30年4～9月(今期)の変化幅は29年10～3月(前期)との対比、30年10～3月(見通し)の変化幅は30年4～9月(今期)との対比。

図表3. 平成30年度上期の景気基調



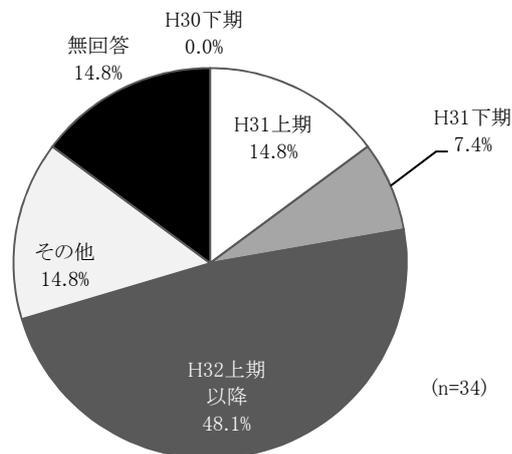
図表4. 平成30年度上期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業

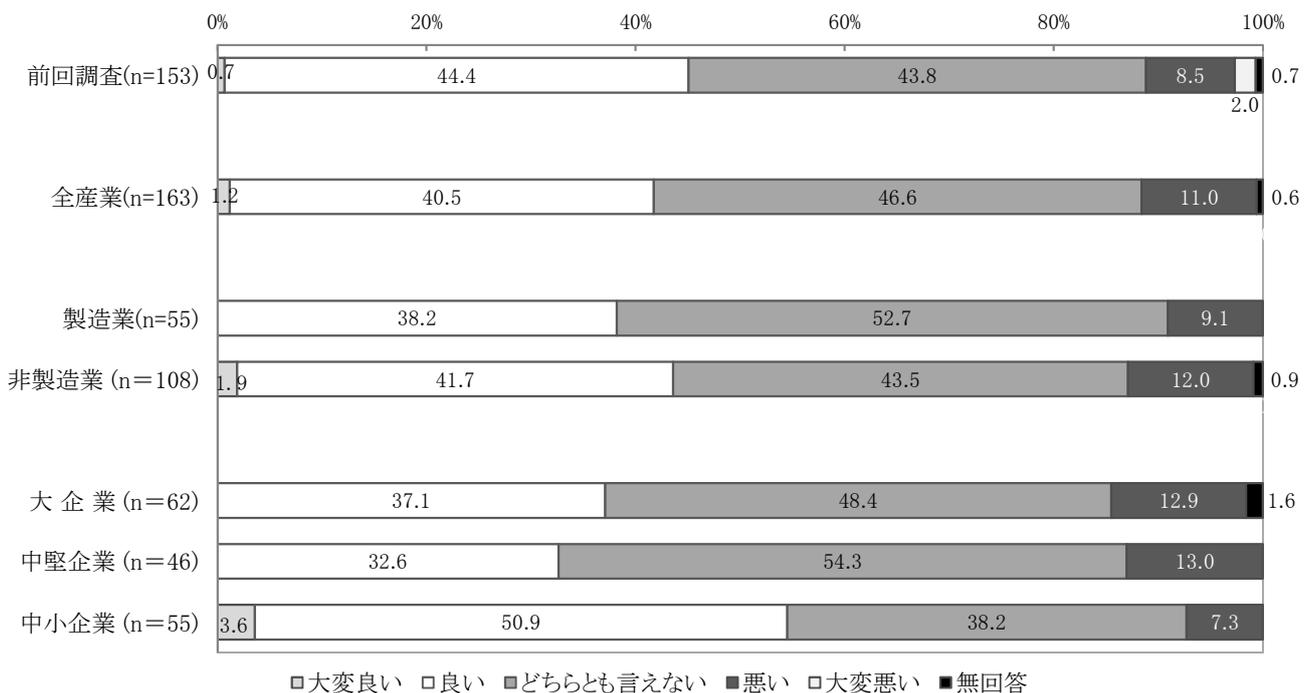


Ⅱ. 業績

前回調査に引き続き、業績水準は高水準で推移 来期についても、改善を見込む企業が増加している

- ・ 現在の業績水準について、「大変良い」「良い」とみている企業が41.7%（前回45.1%）、
「悪い」「大変悪い」とみている企業が11.0%（前回10.5%）となっている。（図表6）
- ・ 30年度上期の業績について、業績判断BSI（図表7 ※）の現状判断は、11.1となり、前回調査
（29年度下期）の21.0から減少している。
- ・ 業種別でみると、業績判断BSIは製造業が16.4（前回24.0）、非製造業が8.3（前回19.4）
と、どちらも減少している。
規模別では、大企業が16.1（前回31.6）、中堅企業が2.2（前回8.1）、中小企業が12.7（前
回17.9）となり、いずれも前回調査（29年度下期）より減少している。（図表7）
- ・ 来期（30年度下期）見通しの業績判断BSIは24.6（今期11.1）と、業績の改善を見込む企業が増
加している。業種別でみると、製造業が41.8、非製造業が15.8といずれも改善を見込む企業
が上回っている。また、規模別でみると、大企業は30.6（今期16.1）、中堅企業は15.2（今期
2.2）、中小企業は25.4（今期12.7）とそれぞれ改善を見込んでいる。（図表7）
- ・ 経営上の課題では、「人材養成・確保」（79.1%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」
（50.3%）となっている。（図表8）

図表6. 現在の業績水準



図表7. 平成30年度上期の業績判断と見通し

※業績判断BSI

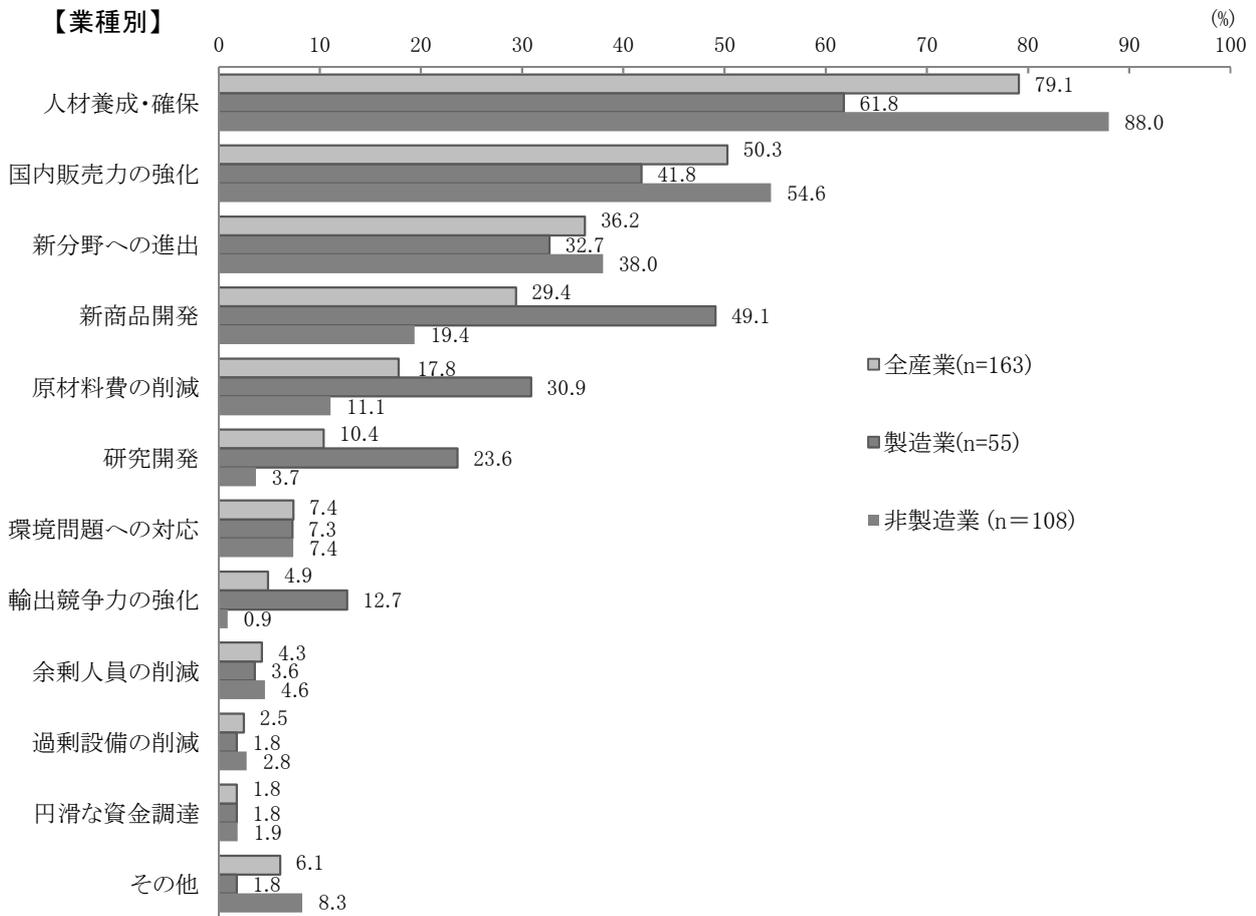
(「改善」「やや改善」) - (「悪化」「やや悪化」) 社数構成比

単位:%ポイント

	前回調査		今回調査				
	29年10~3月(前期)		30年4~9月(今期)		30年10~3月(見通し)		
	業績判断BSI		業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅	
全産業	21.0		11.1	▲ 9.9	24.6	13.5	
業種	製造業	24.0		16.4	▲ 7.6	41.8	25.4
	非製造業	19.4		8.3	▲ 11.1	15.8	7.5
規模	大企業	31.6		16.1	▲ 15.5	30.6	14.5
	中堅企業	8.1		2.2	▲ 5.9	15.2	13.0
	中小企業	17.9		12.7	▲ 5.2	25.4	12.7

注) 30年4~9月(今期)の変化幅は29年10~3月(前期)との対比、30年10~3月(見通し)の変化幅は30年4~9月(今期)との対比。

図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

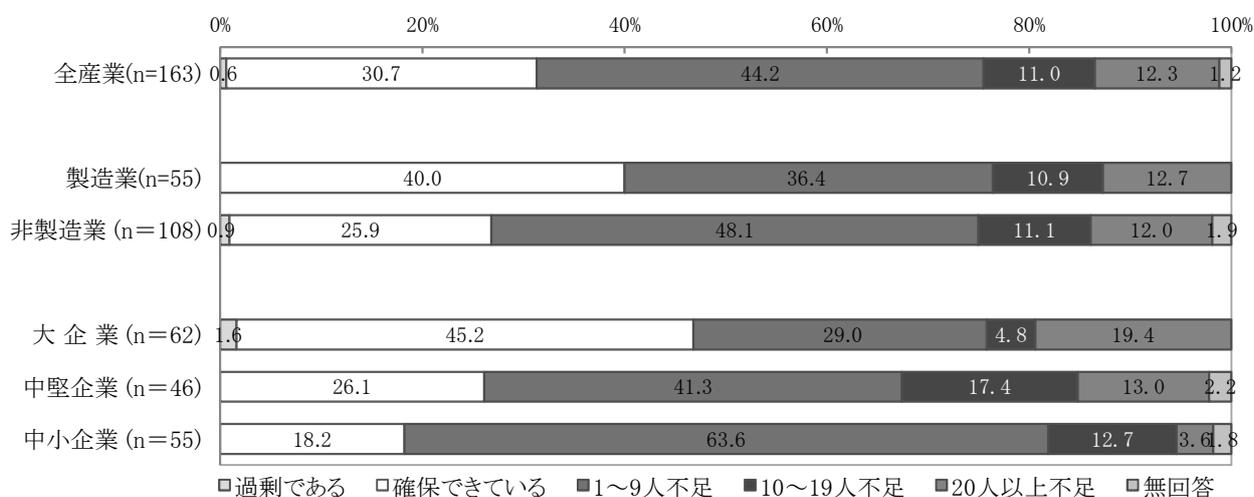


Ⅲ. その他

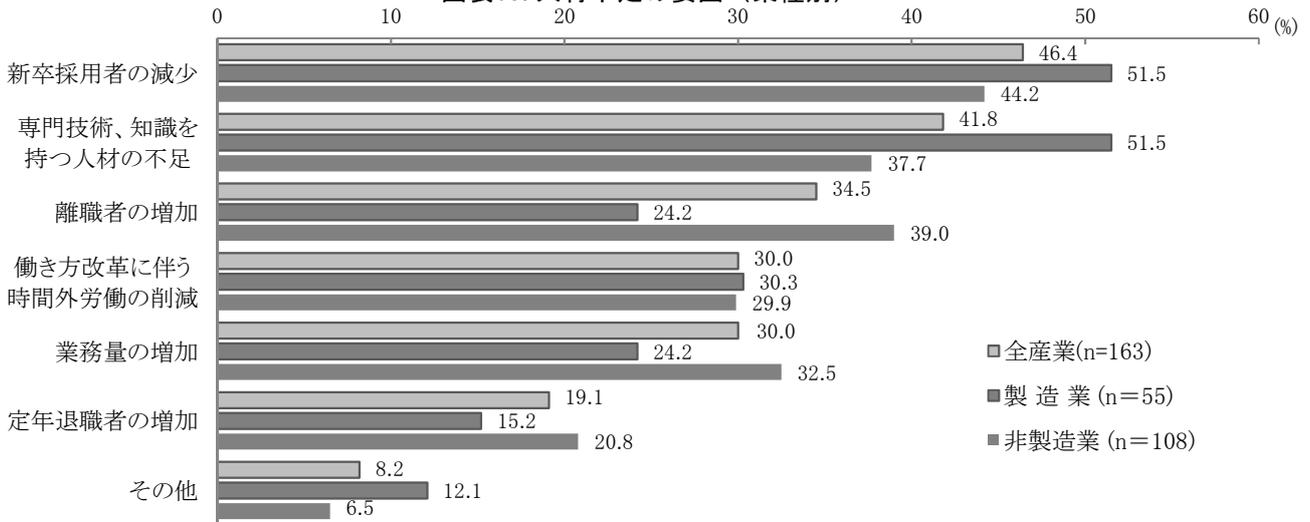
1. 人材不足について

- ・ 全産業では31.3%が人材が過剰または確保できているが、67.5%が人材不足となっている。業種別で見ると製造業では60.0%、非製造業では71.2%が人材不足となっている。規模別では大企業よりも中堅企業、中小企業の方が人材不足がより深刻である。(図表9)
- ・ 人材不足の要因としては、「新卒採用者の減少」(46.4%)が最も多く、次いで「専門技術、知識を持った人材の不足」(41.8%)となっている。業種別で見ると製造業では「新卒採用者の減少」(51.5%)と「専門技術、知識を持つ人材の不足」(51.5%)が高くなっているが、非製造業においては「新卒採用者の減少」(44.2%)が最も高く、次いで「離職者の増加」(39.0%)となっている。(図表10)
- ・ 人材不足の要因を規模別で見ると、大企業では「専門技術、知識を持った人材の不足」(42.4%)が最も多く、中堅企業・中小企業では「新卒採用者の減少」(中堅企業：45.5%、中小企業：54.5%)が最も多くなっている。(図表11)
- ・ 人材確保の対応策としては、「中途採用の実施」(66.9%)が最も多く、次いで「定年退職者の再雇用」(57.1%)となっている。(図表12)
- ・ 2018年4月の新卒者採用状況は34.4%が希望数未満の採用となっている。(図表13)
- ・ 人材確保のため、行政や経済団体に望むこととしては「北陸出身者の地元企業への就職支援」(71.2%)が最も多く、次いで「業務効率化への支援」(40.5%)となっている。(図表14)

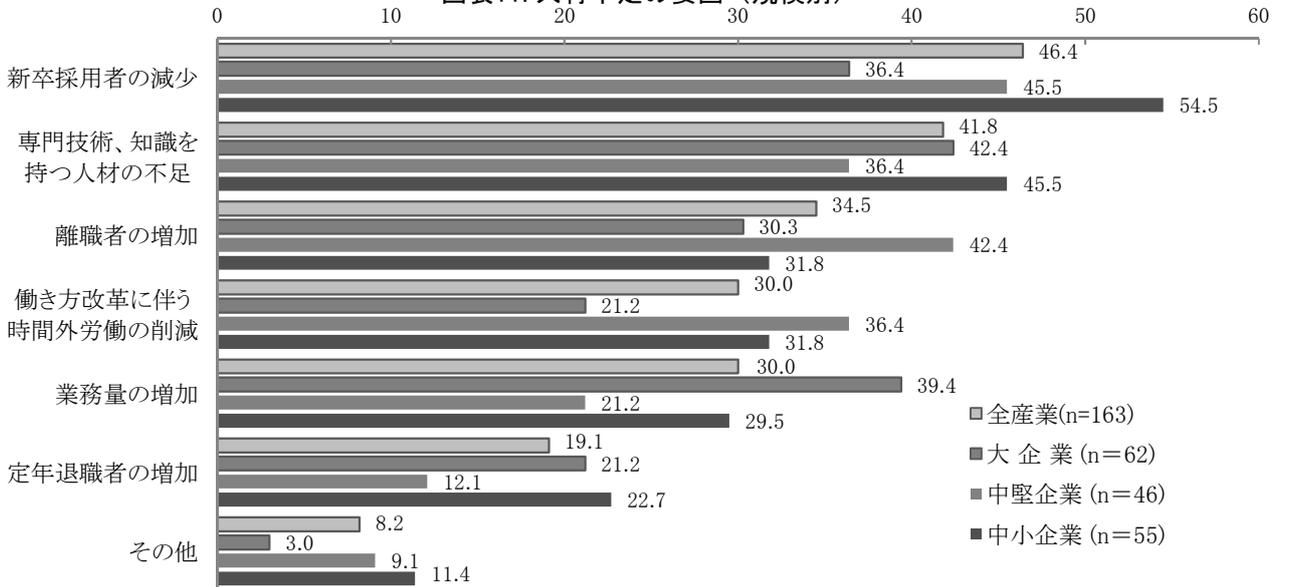
図表9. 人材の過不足状況



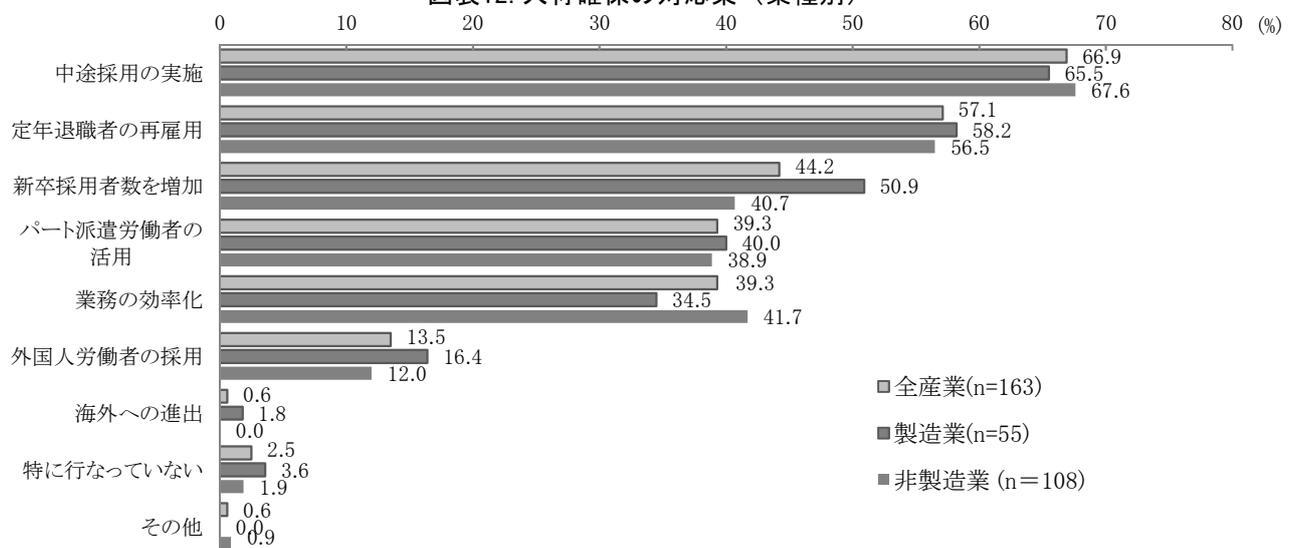
図表10. 人材不足の要因（業種別）



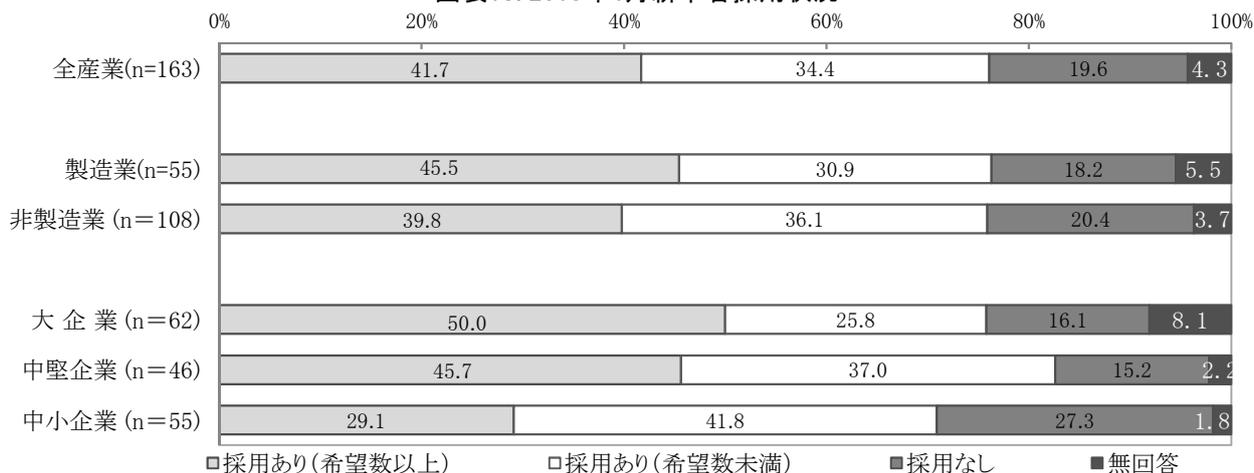
図表11. 人材不足の要因（規模別）



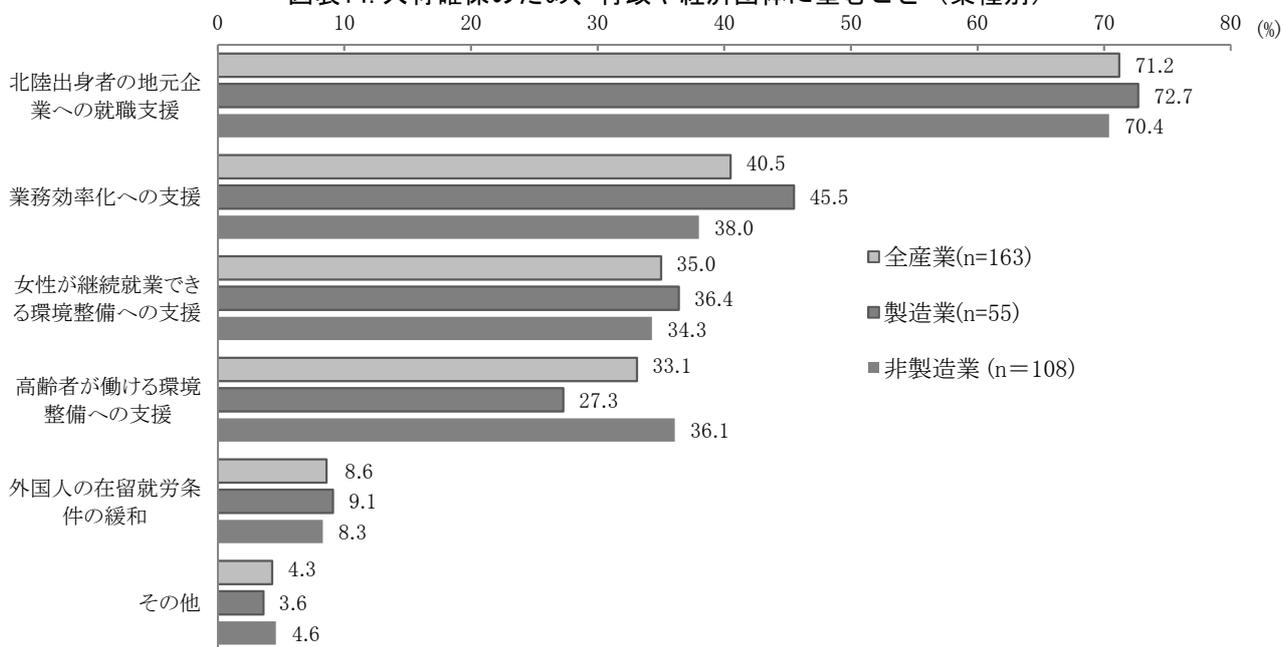
図表12. 人材確保の対応策（業種別）



図表13. 2018年4月新卒者採用状況



図表14. 人材確保のため、行政や経済団体に望むこと（業種別）

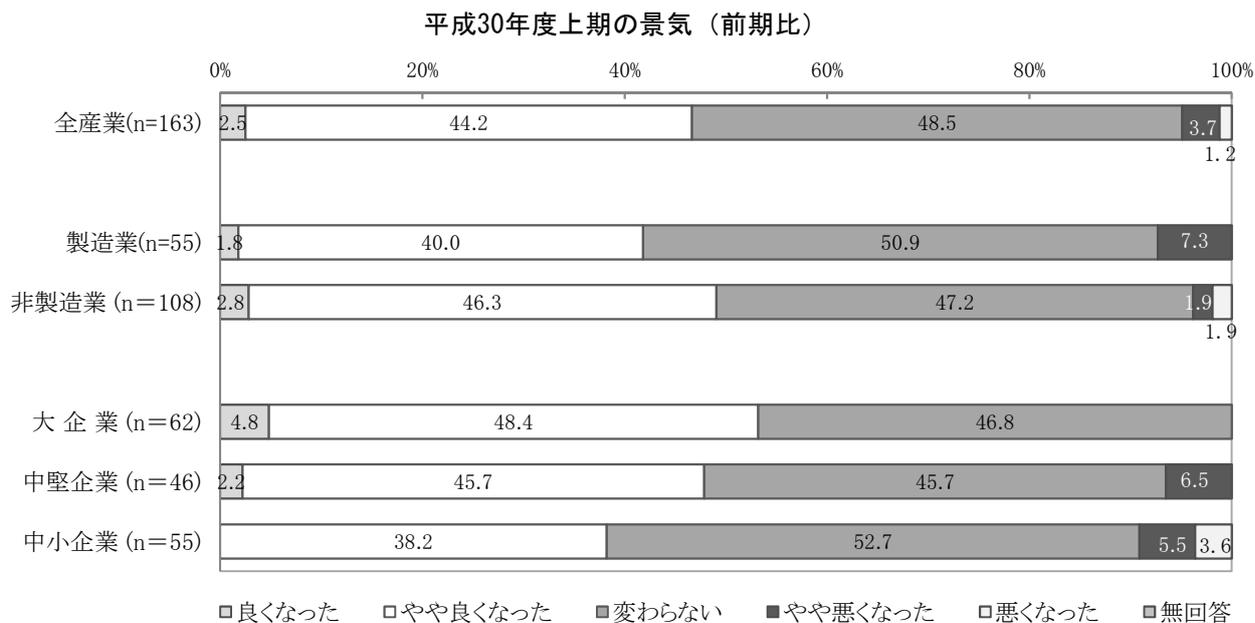


参考(アンケート調査結果)

I 景気動向

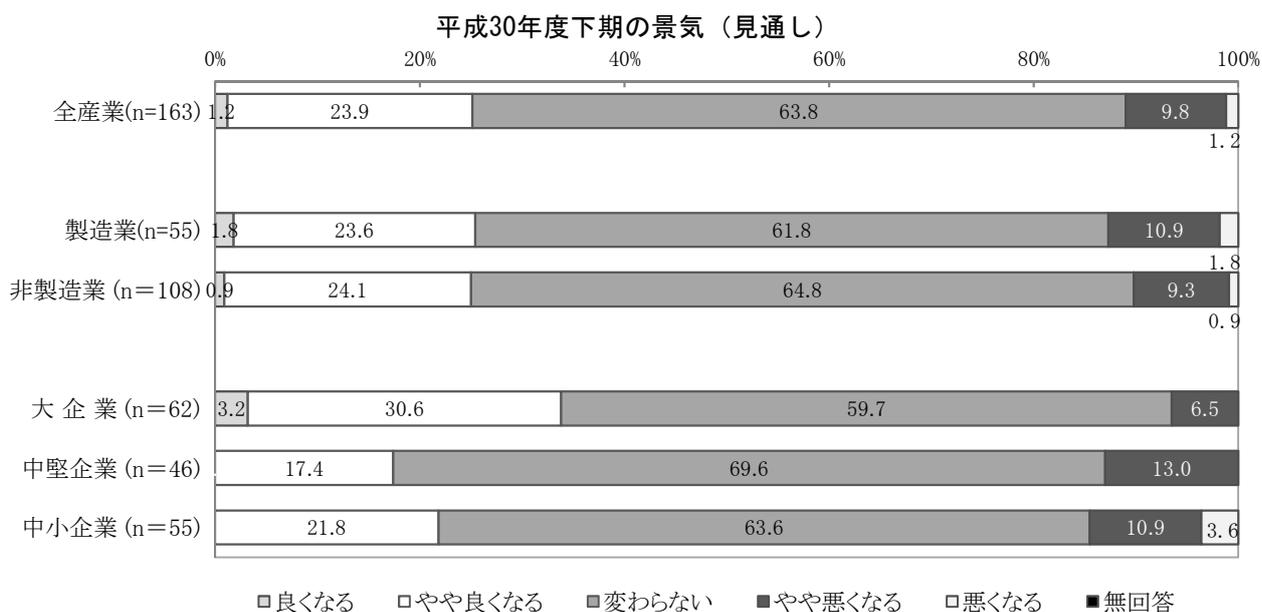
Q.1

北陸地域の平成30年度上期(4月～9月)の景気は平成29年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

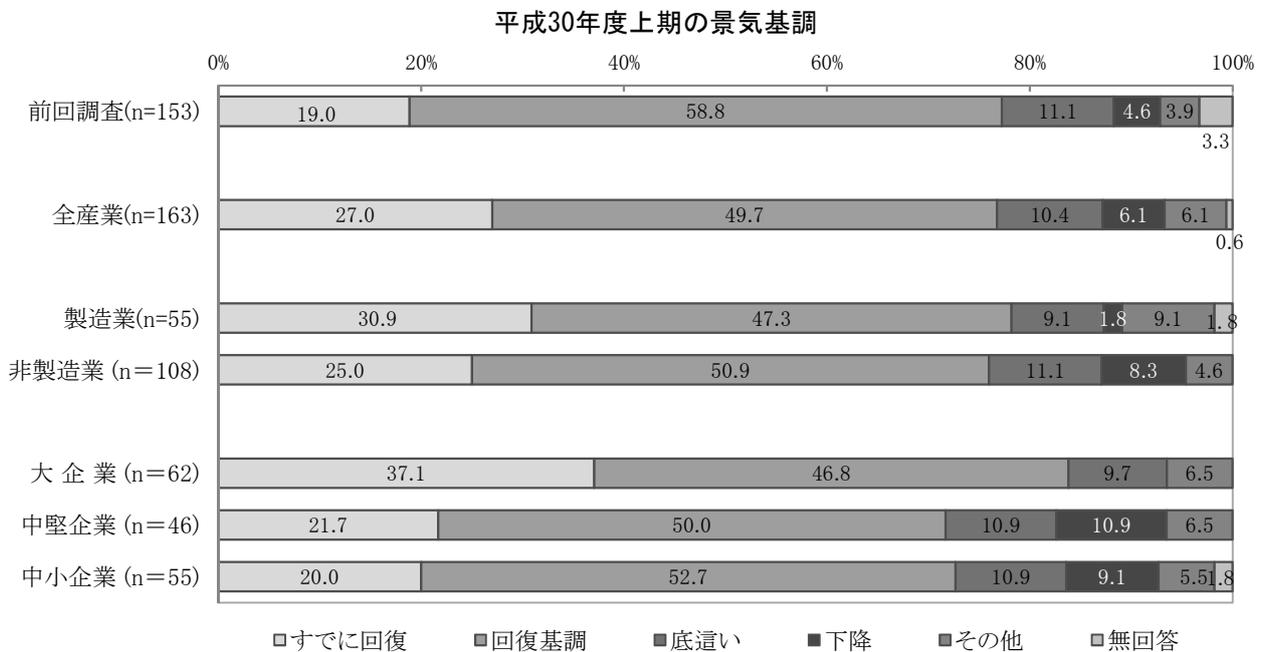
北陸地域の平成30年度下期(10月～3月)の景気は平成30年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



I 景気動向

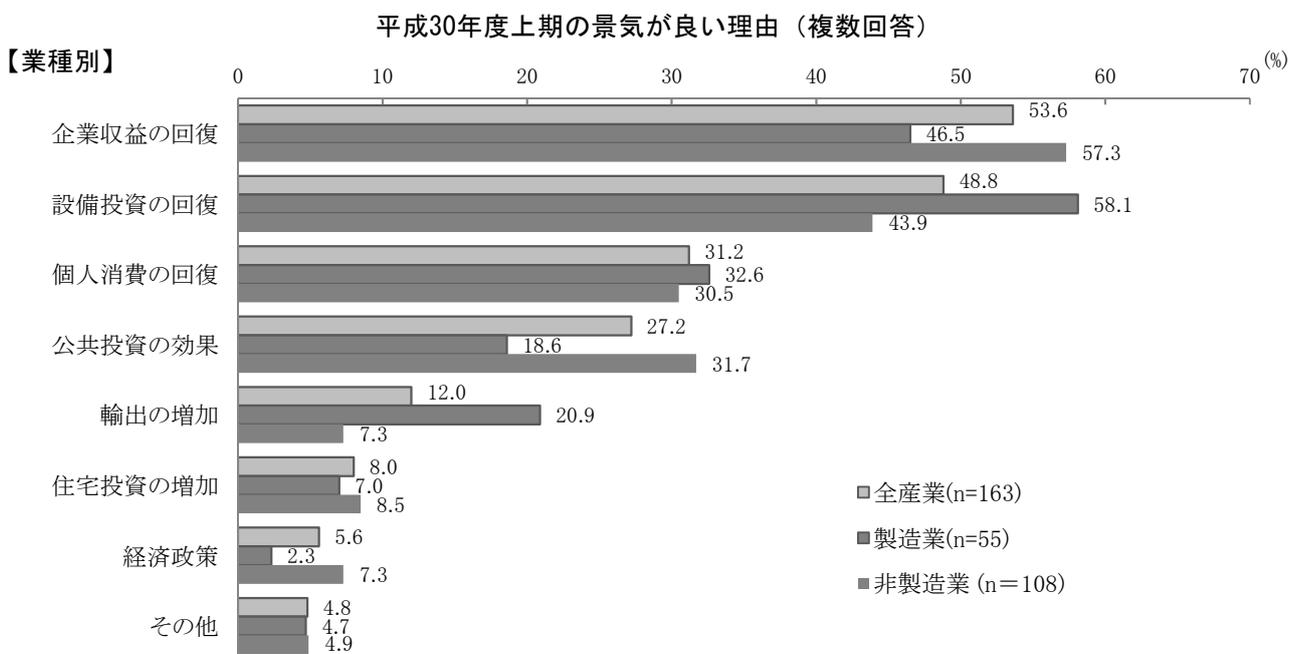
Q.3

平成30年度上期(4月～9月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。



Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
平成30年度上期(4月～9月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



◎経済政策の具体的な回答

- ・北陸新幹線延伸工事

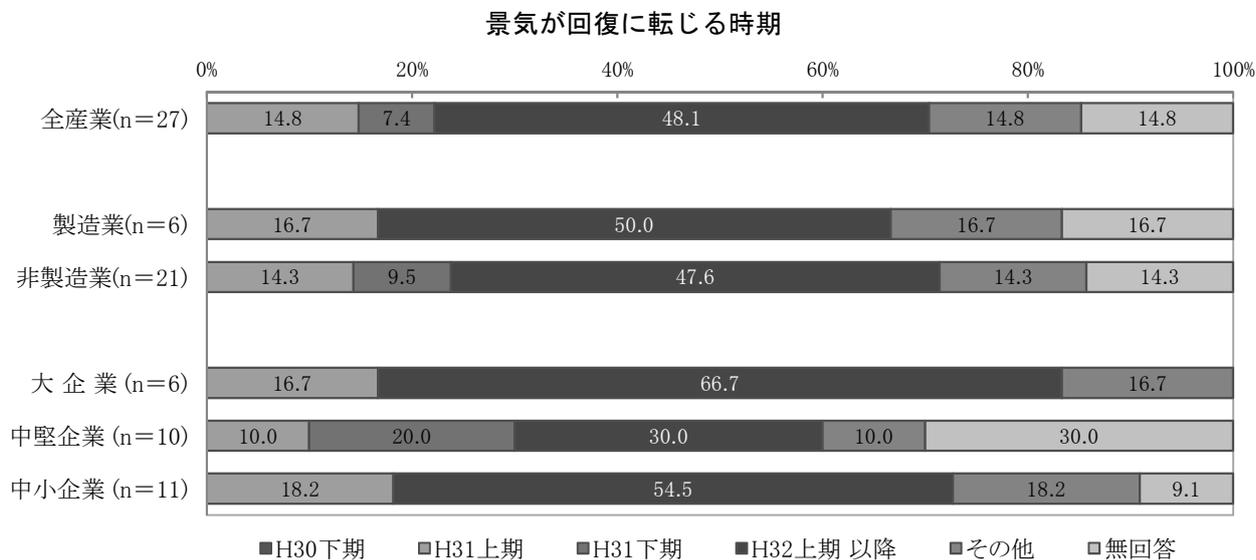
◎その他の具体的な回答

- ・北陸新幹線効果
- ・福井国体の開催
- ・インバウンド増加

I 景気動向

Q.5

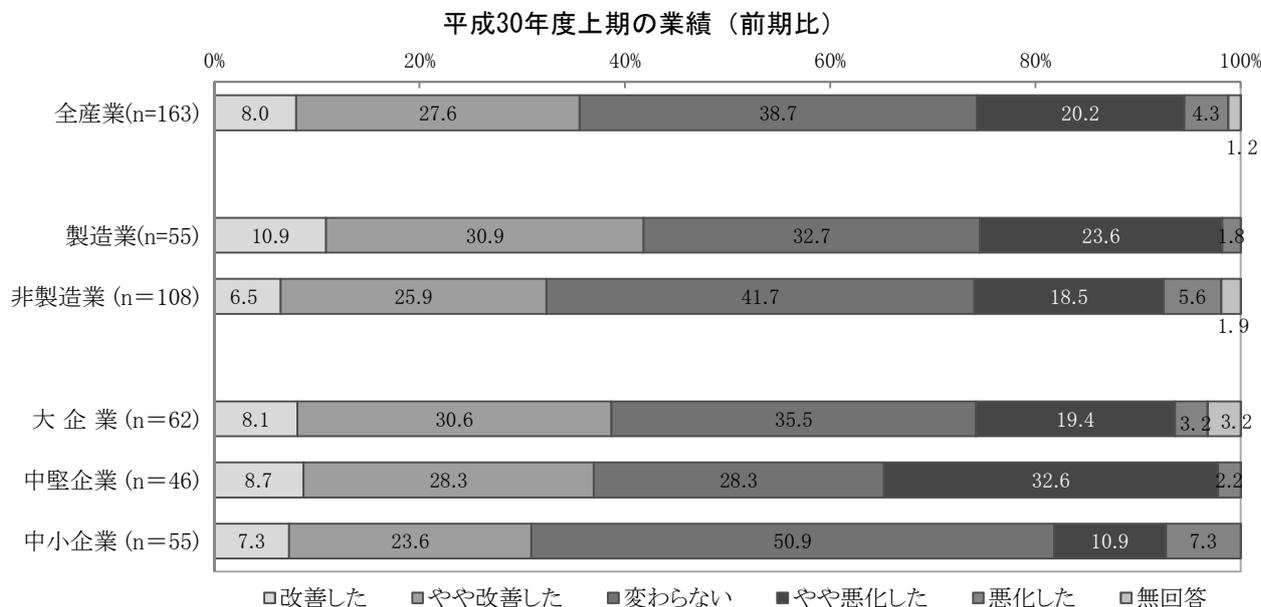
Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ
北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。



II 業績

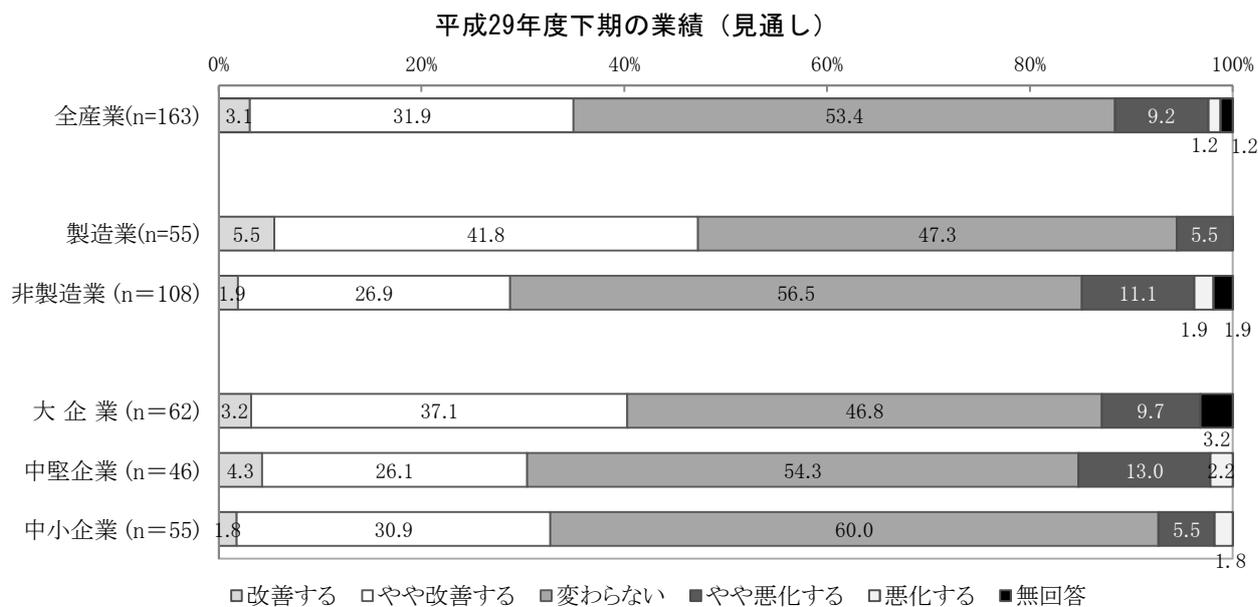
Q.1

貴社の平成30年度上期(4月～9月)の業績は、平成29年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

貴社の平成30年度下期(10月～3月)の業績は、平成30年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)

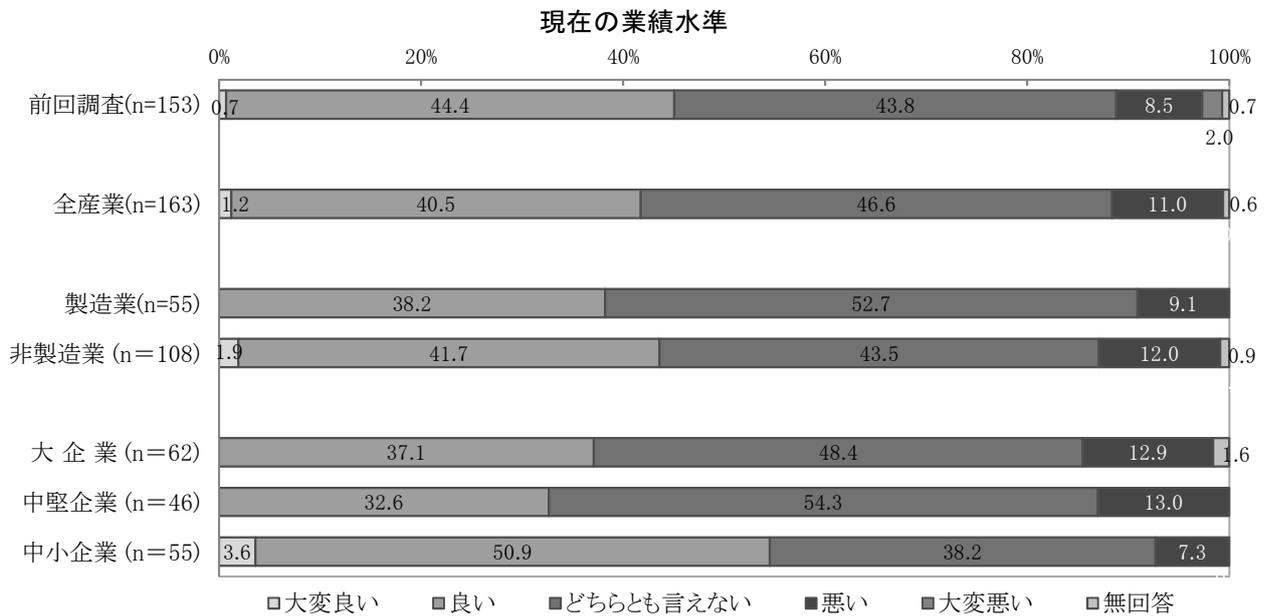


II

業績

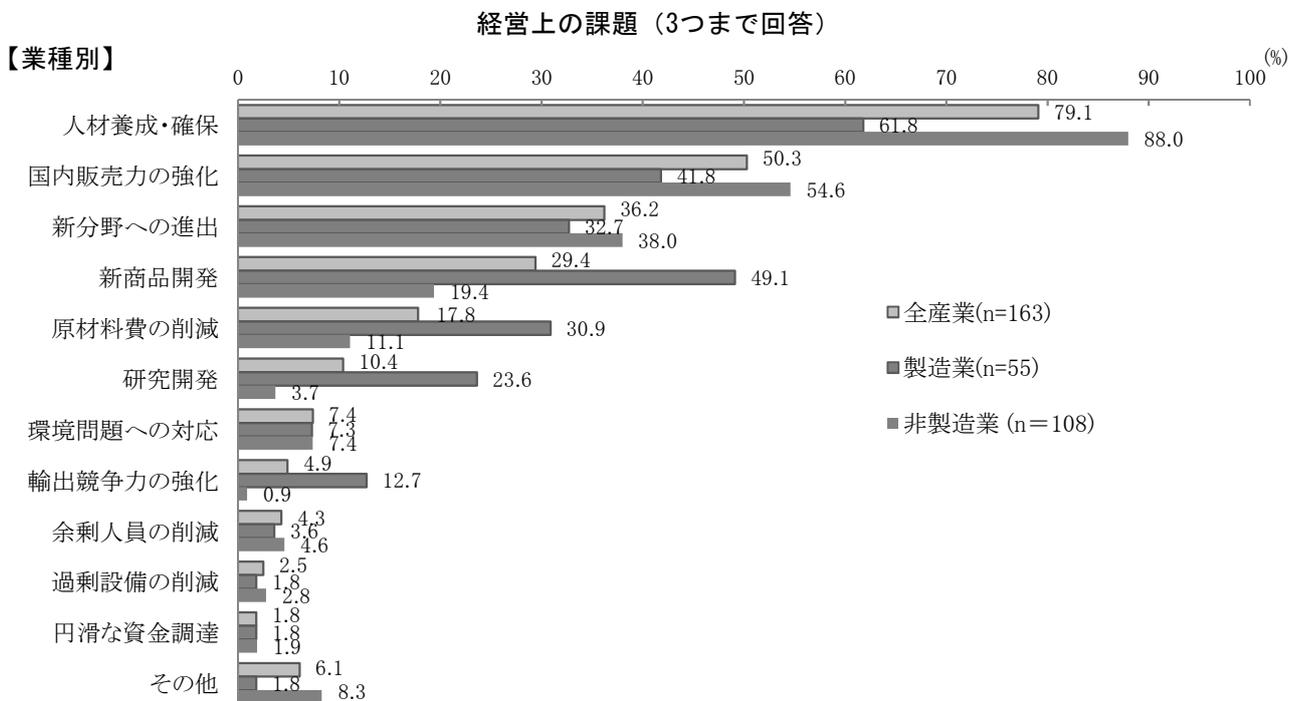
Q.3

現在の貴社の業績水準についてどう思われますか。



Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)



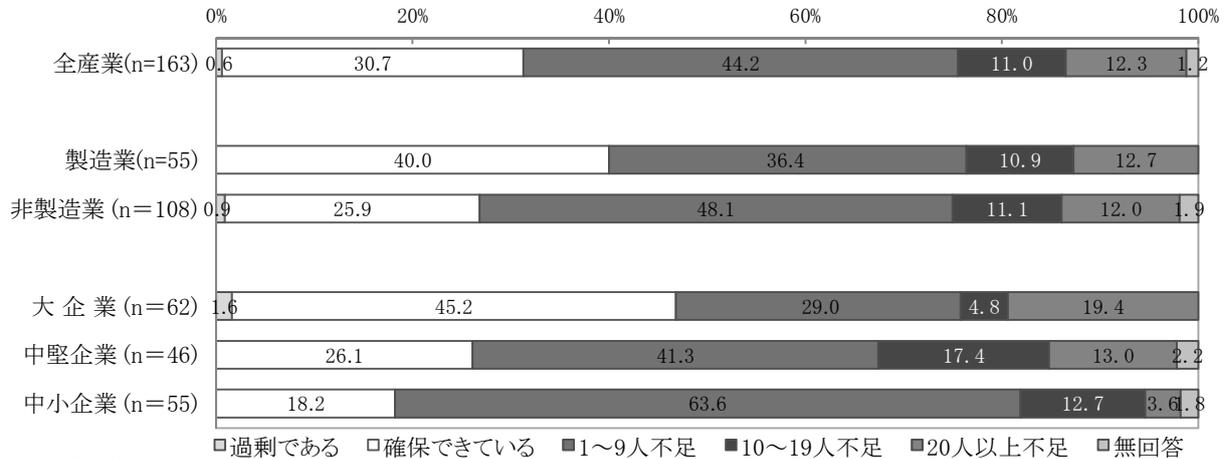
III その他

1. 貴社の人材不足状況についてお聞きます。

Q.1

貴社は現在事業を行なうための必要な人材が十分に確保できていますか。

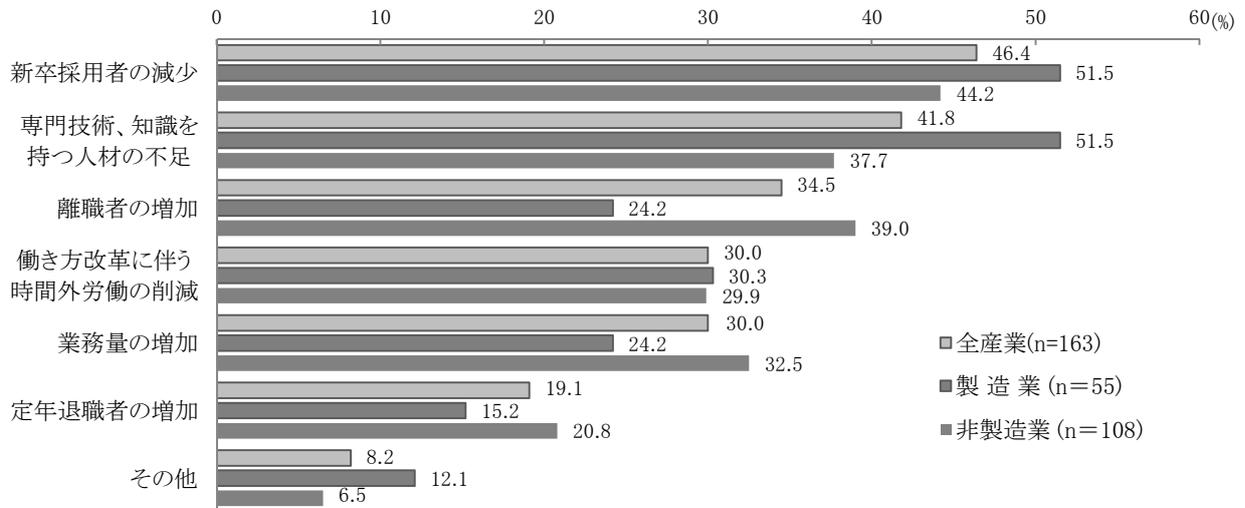
人材の過不足状況



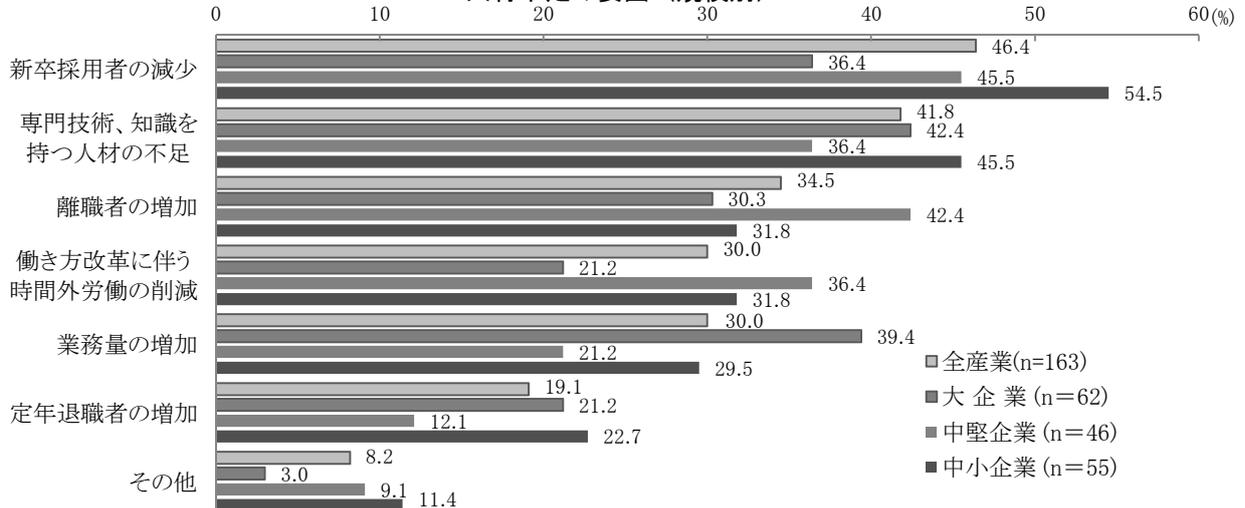
Q.2

必要な人材が確保できていない要因は何だと思いますか。(複数回答可)

人材不足の要因 (業種別)



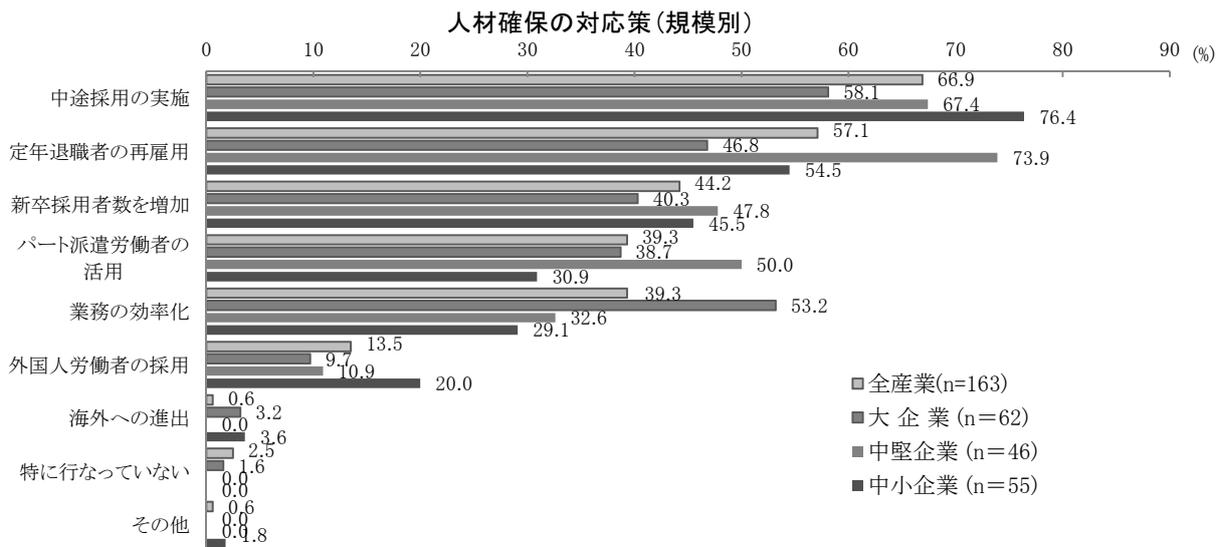
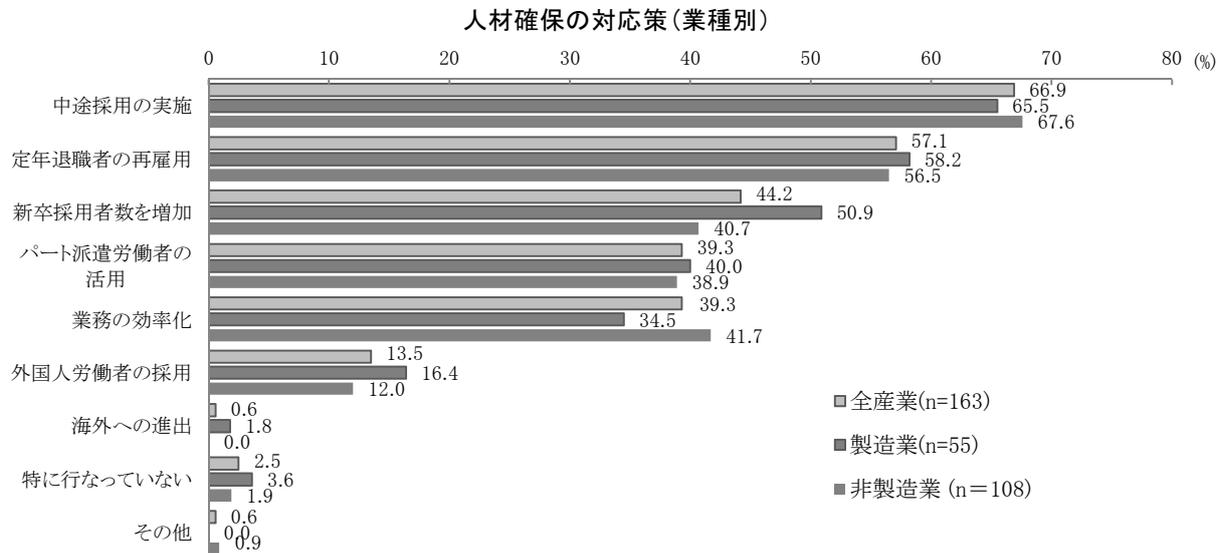
人材不足の要因 (規模別)



III その他

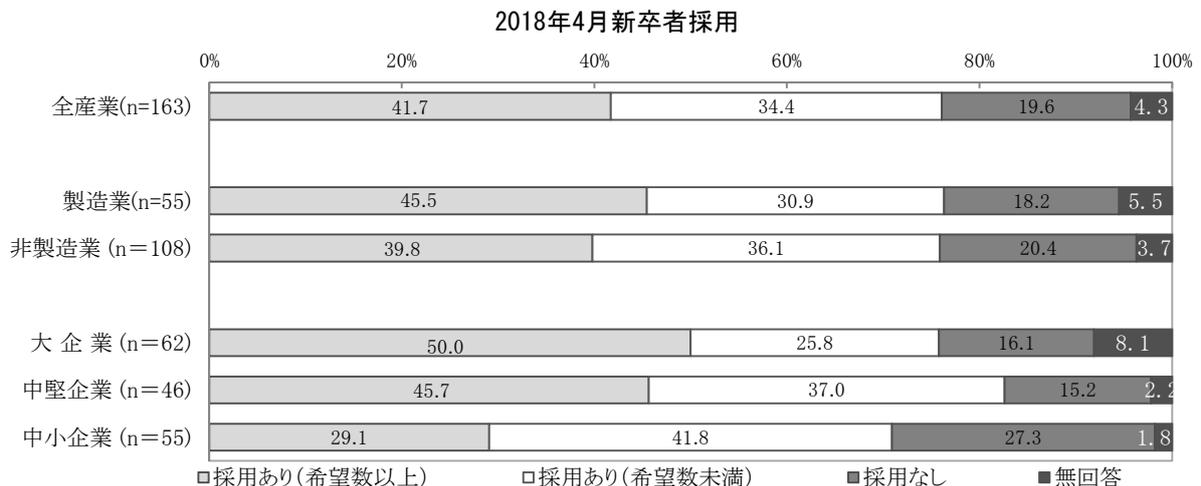
Q.3

貴社は必要な人材確保のために、どのような対応をしていますか。 (複数回答可)



Q.4

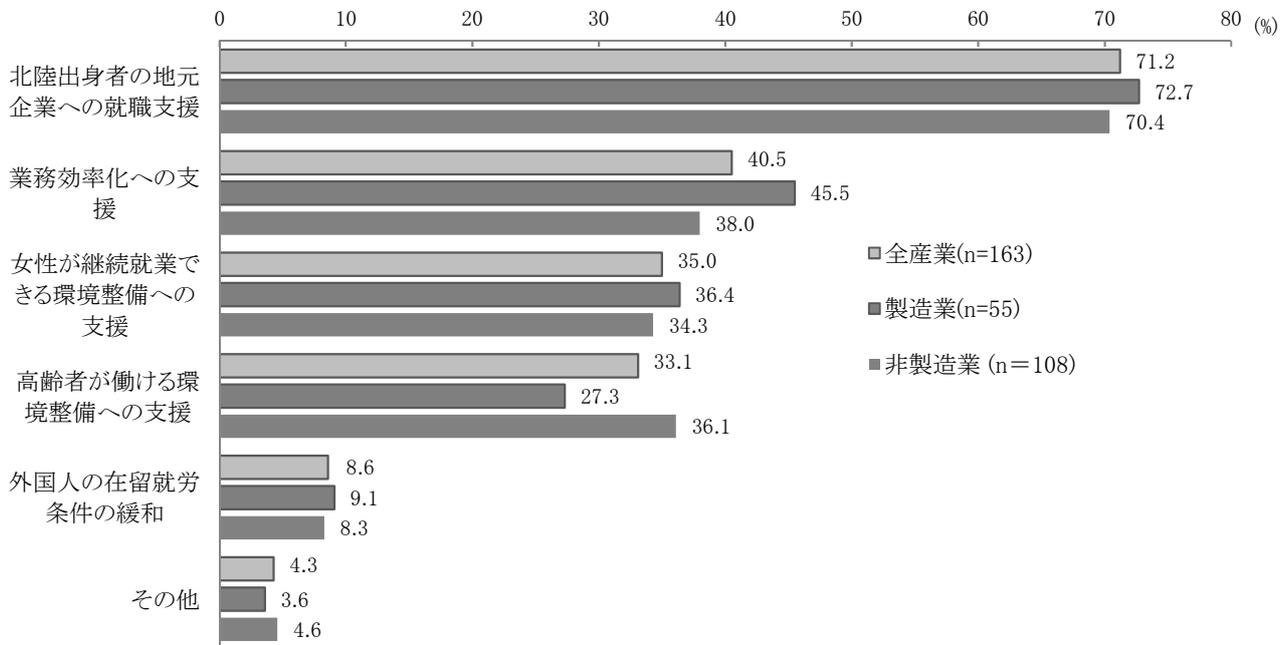
2018年4月新卒者の採用はございましたか。希望採用者数を確保できましたか。



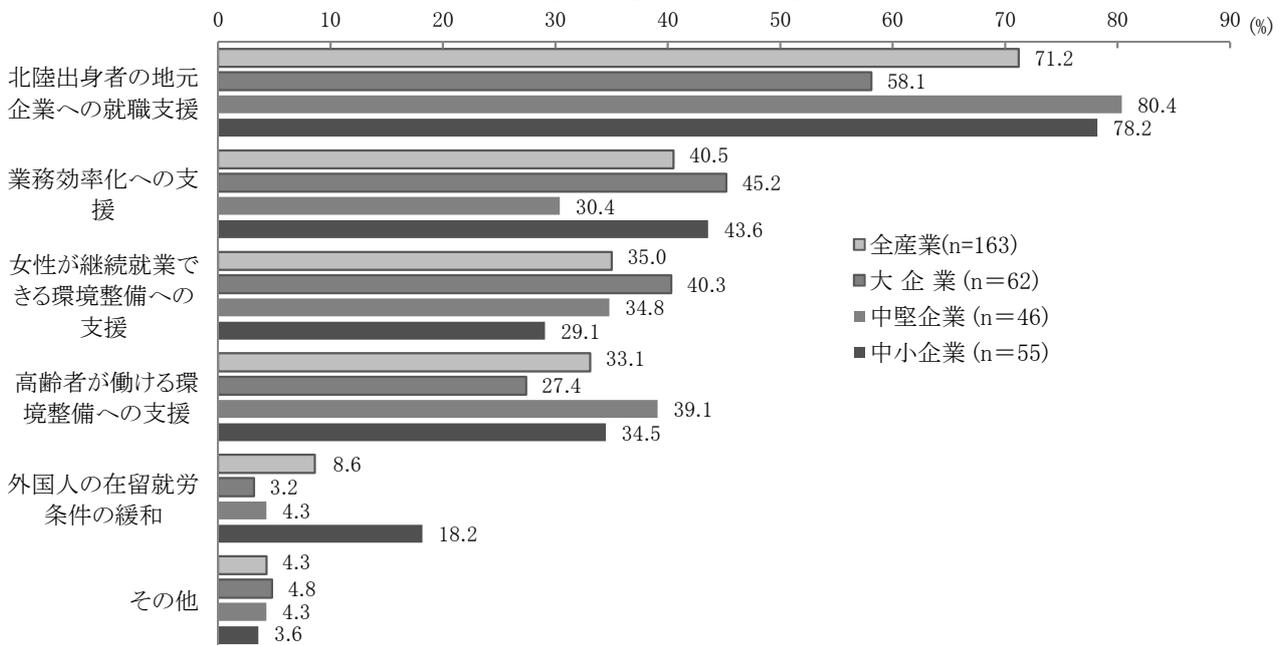
Q.5

今後、北陸企業の人材確保のため行政や経済団体に望むことはなんですか。（複数回答可）

人材確保のため、行政や経済団体に望むこと（業種別）



人材確保のため、行政や経済団体に望むこと（規模別）





ACCESS!
SUCCESS!
HOKURIKU

はじめよう、北陸サクセス。

平成30年11月発行

北陸経済連合会

HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階

TEL : 076-232-0472 FAX : 076-262-8127

e-mail info@hokkeiren.gr.jp

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>

北陸物語 facebook

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>